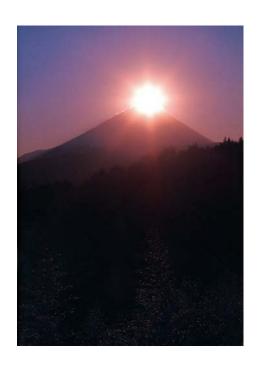
第46回西四大学合唱演奏会【1997年(平成9年)6月22日】

昭和女子大学人見記念講堂



5th 合同演奏

男声合唱組曲「富士山」

作詩:草野 心平

作曲:指揮:多田 武彦

I 作品第壹 II 作品第肆

Ⅲ 作品第拾陸

IV 作品第拾捌

V 作品第貳拾壹

ゆかり

東西四連との永い由縁

多田武彦

1947年、旧制大阪高校に入学し、すぐにコーラス部に入った。そして関西での合唱祭や合唱コンクールに参加すると、何時も、同志社グリークラブや関西学院グリークラブの名演奏に圧倒された。

1950年京都大学に進んでからも、合唱を続けた私は、 両グリークラブの演奏会に足繁く通い、宗教曲やスピ リチュアルや邦人作品の名演に感動し続けた。

1952年、京大男声合唱団は初めて慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団と早稲田大学グリークラブとの合唱交歓会を持った。慶應ワグネルの絶妙のアンサンブルや早大グリーのダイナミックな響きは、45年経た今も、鮮明に記憶している。

これらの名演奏を起点として、今まで56の男声合唱 組曲を作曲することが出来た。

また、恩師清水脩先生(故人)の薫陶や、高雅な詩 人の魂のおかげで、日本国中の合唱愛好のかたがたに 愛唱していただいた。

その中でも五指に入る「富士山」を、合同演奏のス テージで指揮させていただくのは、本当に嬉しい。

清水先生からは、「歌曲や合唱曲を作曲するときは、 詩自体にすでに音楽のある詩を厳選し、これに寄り添 うように作曲すること。曲を大切にするあまり、詩の 音楽を壊してはいけない。ましてや、詩人の了解無し に、勝手に詩を削除したり変更したりするのはもって のほか」と厳しく教示された。

この薫陶を遵守したおかげで、詩人草野心平先生(故人) はよく私に「自分の詩の心や感情の抑揚をよく摑んで作曲してくれているので、大変嬉しい」と喜んでおられた。

この合同ステージでは、若い学生諸君と共に「富士 山をこよなく愛した詩人の魂」を、心行くまで歌い上 げたい。